

## 前回までの研究会の主な議論

### ・ リスクコミュニケーションの取組に対する主な意見

#### 1. 総論

リスク分析の考え方におけるリスコミの目的（関係者の意見を施策に反映）

- ・ 目標が不明確、何を伝えようとしているのかよく分からない

#### 2. 意見交換会

目標の明確化と達成度に対する評価

- ・ 目標設定と自己評価

参加者に分かりやすい説明

- ・ 分かりやすい資料、タイトル（単なる簡素化ではない）
- ・ 分かりやすい表現（プレゼン能力のトレーニング）
- ・ 映像媒体の活用
- ・ 誤解されやすい問題点に対する十分な説明

公平性の確保、フェアネス

- ・ 信頼されるコンテンツ作成

双方向性の確保

- ・ 質問と説明、立場の違う者の意見表明から意見交換へ
- ・ 意見交換会で出てきた意見はどうなったのか

意見交換会の対象者

- ・ 消費者とは（消費者団体と一般消費者、サイレントマジョリティー）
- ・ マスメディアとの意見交換

多彩なメニュー

- ・ 少人数で議論を深める
- ・ 官民連携での主催

#### 3. ホームページ

一般の人に分かりやすく

- ・ 官僚的な表現を一般化
- ・ 会議報告には要約を
- ・ リンク先についての簡単な説明を

基準値やデータなどの情報提供（信頼の高いサイトから）

- ・ 基準値などの情報
- ・ 通知や通達を見やすく整理
- ・ 基準値を達成するためにどうすればよいかの情報

子供向けサイト（キッズサイト）の作成

利用者のニーズに応じた情報提供

- ・ 専門家向け、行政関係者向け

検索しやすく

英語ページの充実

#### 4. リスクコミュニケーターのトレーニング

トレーニングプログラムの作成・実行

トレーニング成果の活用と維持のための組織としての規範の確立

#### 5. 事例研究

病原性大腸菌O157集団食中毒事件への対応についての考察

．今後改善すべき事項

- 1．意見交換会  
目標の明確化  
・チェックリストの導入  
・アンケート項目の見直し  
映像による説明の導入
- 2．ホームページ  
ホームページの見直し
- 3．トレーニング  
プログラムの作成  
研修の実施
- 4．その他